



2023年3月28日

各 位

会 社 名 エコナックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 隆 太
(コード番号 3521 東証プライム市場)
問合せ先 管理部 野 村 嘉 之
(TEL 03-6418-4391)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況および 売買代金基準への適合に向けた計画書の更新について

当社は、プライム市場の上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」を充足していないことから2021年12月16日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出しております。また、2022年12月末日時点におきまして、新たに「1日平均売買高基準」に適合しておりません。「流通時価総額」の適合へ向けた計画の進捗状況ならびに「1日平均売買高基準」の適合に向けた方針について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況および計画期間

当社の2022年12月末日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおり「流通株式時価総額」および「1日平均売買代金」について基準を充たしておりません。

当社は前回公表したとおり、2025年3月期末を期限として、今回新たに計画の対象となりました1日平均売買高代金も含めた上場維持基準を充たすための各種取組を引き続き進めてまいります。

| | | 流通株式数 (単位) | 流通株式時価 総額 (億円) | 流通株式 比率 (%) | 1日平均売買 代金 (億円) |
|-----------------------|---------------------------|---------------|-------------------|----------------|-------------------|
| 当 社 の 状 況 | 2021年6月末日時点 (前回基準日時点) | 242,703 単位 | 22 億円 | 56.8% | 0.2 億円 |
| | 2022年12月末日時点 (直近基準日時点) | 232,307 単位 | 21 億円 | 43.8% | 0.19 億円 |
| プライム市場上場維持基準 | | 20,000 単位 | 100 億円 | 35% | 0.20 億円 |
| 計画書記載項目 | | | ○ | | ○ |
| 上場維持基準充足のための 計画期間 | | — | 2025年3月期 | — | 2024年12月期 |

※2022年12月末日時点の当社の適合状況のうち、1日平均売買代金は、東証が基準日時点で把握

している売買代金です。その他の項目は2022年9月末時点の株券等の分布状況等をもとに、保有目的が純投資である株式を含めて当社が算出を行ったものです。

なお、流通時価総額の算出には、2022年10月から12月の日々の最終価格の平均値(90.7円)を用いております。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況および評価

当社は、上場維持基準の適合に向けて、2021年12月16日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載した『中期3カ年計画』に沿って着実に計画を進めております。

まずは、業績の向上に向けて主力である東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯」におきまして、新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ業績を回復させることを重視し様々な集客活動を行いました。幸い新型コロナウイルス感染症患者の減少に伴い、飲食業や観光業などの回復と同じく「テルマー湯 新宿店」はコロナ以前に近い状況まで回復し、計画どおりに推移しております。

また、『中期3カ年計画』で記載していたとおり、温浴事業の多店舗展開の計画を進め、埼玉県比企郡滑川町に新たに「グランピング♨テルマー湯」をオープンさせることができましたが、温浴施設の入館者数が伸び悩み初期投資費用もかかったことから温浴事業としての利益を圧迫する結果となってしまいました。

そのようなことから、早期ではありますが、「グランピング♨テルマー湯」を運営しておりました当社子会社であった株式会社ハッピーリゾートの株式を全額譲渡することとなり、現在、こちらの施設からの経営は撤退しております。

また一方で東京都港区西麻布にあります、保有ビルの「サウナ・スパ テルマー湯 西麻布」の開業が『中期3カ年計画』で見込んでいた時期より遅れ本年4月の開業となっております。

このようなことから、計画書どおりに進めてまいったものの温浴事業の全体業績につきましては、当初の業績見込みを下回ってしまい、当社株価の低迷と株式取引金額の減少を招き、新たに1日平均売買代金基準につきましても上場維持基準に抵触する結果となってしまいました。

以上の結果を踏まえて、最終年度の達成に向けて既存事業の更なる発展や温浴事業の更なる多店舗化を含めた新たな事業の生成など、一部計画の見直しが必要であると考えております。

なお、その他の取り組みにつきましては、以下のとおりです。

【コーポレートガバナンスの充実】

女性・外国人・中途採用者の管理職への登用等、中核人材の登用等における多様性の確保および人材育成方針につきましては、当社グループにおいて、着実に実行を進めております。

今後は、人材育成方針・社内環境整備方針、測定可能な目標を示し開示を行うことを進めます。

【サステナビリティへの取り組み】

当社グループは、女性管理職の登用等女性の社会進出を推進しており、当期におきましては、女性管理職の登用として1名、女性社員の中途採用等、着実に実行を進めることが出来ております。

今後は、さらなる女性の社会進出を推進してまいります。

【株主還元策の実施】

中期3カ年計画を計画どおりに達成し、復配を実施すべく進めております。

【IR 活動の積極的推進】

決算短信（サマリー）の英語版の作成を実施いたしました。

3. 今後の課題と取組内容

『中期3カ年計画』で記載したとおり、当社は売上の拡大を最重要課題としており、2025年3月期におきまして、売上高30億円を目標に計画を進めております。

しかしながら、埼玉県比企郡滑川町の施設「グランピング♨テルマー湯」からの事業の撤退などもあったことから既存事業の更なる発展や温浴事業の更なる多店舗化を含めた新たな事業の生成などの追加施策も具体化して計画を一部見直しが必要であると考えております。

その中で計画書に記載の最終年度に当期純利益を5億円の業績目標を達成した場合には流通時価総額の基準の適合が可能であると判断しております。

また、「1日平均売買代金」につきましても上記の計画を達成するとともに、まだ達成できていない計画書に記載のコーポレートガバナンスの充実、サステナビリティへの取組の促進、株主還元策の実施、IR活動の積極的推進にも引き続き取り組むことにより基準の適合が可能であると判断しております。

以 上